

平成27年度
玉城町社会福祉協議会
事業報告書

(平成27年4月1日～28年3月31日)

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営	
(1) 法人運営の経営体制の強化	3
(2) 会員制度等の推進	7
(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知	7
(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み	7
(5) 各種関係機関・団体との連携強化	8
2. 地域福祉事業の推進	
(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）	11
(2) 積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）	13
(3) ボランティア活動と福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）	15
(4) 障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）	20
3. 相談・援助事業の推進	
(1) 福祉相談機能の充実強化	20
(2) 低所得者世帯の生活安定事業	21
(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業	21
4. 受託事業の運営	
(1) バス事業（研修バス・福祉バス・元気バス・すまいるバス）	22
(2) 各種福祉団体事業の運営	23
(3) ICTふるさと元気事業の運営	23
5. 募金活動の推進	
(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動	23
(2) 共同募金と歳末助け合い活動	23
(3) 災害義援への協力及び活動	24
6. 在宅福祉事業の運営	
(1) 介護保険事業の推進と実績	24
(2) 障害者支援事業の取り組みと実績	25
(3) 移送サービス支援事業	25
7. 地域住民からのニーズ事業実施	
(1) シルバー人材センター事業	26

平成27年度の事業報告

平成27年度は、地域福祉活動計画とも言える第2期「地域ふくし力向上計画」がスタートし、同時に町では総合計画後期基本計画の地域福祉活動指標に本計画を位置づけ、重要な役割を担うこととなりました。このことは、コミュニケーション力のさらなる向上や子どもから高齢者まで世代を越えた幅の広い福祉共育に一段と弾みをつけることとなりました。

しかし、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムにおいて、助け合い支えあいの共助・互助の層となるボランティアなどの地域資源が減少傾向にあったり、生産年齢層の地域福祉への参加意識の希薄化が顕著に現れ、今後の福祉共育は社協活動における重要な役割であると感じたところです。

また、今年度は第2・3のセーフティーネットとも言える生活困窮者への支援も制度化され、町や県社協との連携で生活自立支援事業が本格化した他、障害者への支援に向けた計画相談事業を開始するなど、生活弱者への支援を強化してまいりました。

一方、在宅介護分野においては、介護報酬の改訂もあり訪問介護事業、通所介護事業において利用者の減少と相まって前期大きく収入が落ち込む場面もありましたが、職員一丸となり業務改善に努めてまいりました。

その他、バス事業などの受託事業をはじめ、高齢者の就労機会となるシルバー人材センター運営についてもニーズにあったサービスが提供でき、平成27年度における事業方針を概ね実現できたと考えています。

今後もわれわれは、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援、解決につなげ、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会「ふだんのくらしのしあわせ」の実現のため、計画にある「たまき人（びと）」と一緒に職員一人一人が工夫をこらしふくしの前進に努めてまいります。

1. 法人運営

(1) 法人運営の経営体制の強化

①理事会

	開催日	議 題
第1回 (出席者) 理事10名 監事1名	5月25日	報告第1号 理事の選任について（継承） 議案第1号 平成26年度玉城町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算について 議案第3号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算について 議案第4号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算について
第2回 (出席者) 理事11名 監事1名	11月25日	報告第2号 理事の選任について（継承） 報告第3号 評議員の選任について（継承） 報告第4号 平成27年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について 議案第5号 臨時職員就業規則の一部改正について 議案第6号 パート職員就業規則の一部改正について 議案第7号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第8号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第9号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第10号 就業規則の一部改正について

第3回 (出席者) 理事9名 監事1名	3月28日	報告第5号 監事の選任について(継承) 議案第11号 職員給与規程の一部改正について 議案第12号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第13号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第14号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第15号 平成28年度玉城町社会福祉協議会事業計画について 議案第16号 平成28年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算について 議案第17号 平成28年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算について 議案第18号 平成28年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算について
------------------------------	-------	---

②評議員会

	開催日	議 題
第1回 (出席者) 副会長 評議員21名 監事1名	5月25日	報告第1号 理事の選任について(継承) 議案第1号 平成26年度玉城町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算について 議案第3号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算について 議案第4号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算について
第2回 (出席者) 副会長 評議員22名	11月25日	報告第2号 理事の選任について(継承) 報告第3号 評議員の選任について(継承) 報告第4号 平成27年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について 議案第5号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算(第1号)について 議案第6号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第1号)について 議案第7号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第1号)について
第3回 (出席者) 副会長 評議員23名	3月28日	議案第5号 監事の選任について(継承) 議案第8号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第9号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第10号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第11号 平成28年度玉城町社会福祉協議会事業計画について

	議案第12号 平成28年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算について
	議案第13号 平成28年度玉城町社会福祉協議会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算について
	議案第14号 平成28年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算について

③役員会

	開催日	議 題
第1回 (出席者) 10名	2月15日	1. 平成27年度事業計画及び評価について ①平成27年度事業の進捗状況 ②第三者評価の受検 ③新会計の一部改訂 2. 平成28年度事業計画及び予算編成等について ①平成28年度事業計画 ②平成28年度玉城町補助金・委託金状況について ③監事選任について

④監事会

	開催日	議 題
第1回 出席者監事2人	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度玉城町社会福祉協議会事業報告について ・平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の監査について ・平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の監査について ・平成26年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の監査について
第2回 監事1名	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度玉城町社会福祉協議会中間監査について

⑤主任会議 月1開催

健全な経営基盤を確立し、住民に効果的・効率的なサービスを提供するため、主任以上の職員を対象に開催。財務、人事、事業に関してさまざまな検討を行いました。

	開催日	議 題
第1回	4月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度決算資料作成について ・平成27年の職員健康診断について ・赤十字社員増強月間のお願い ・平成27年度社協会費のお願い（職員対象） ・職員研修について ・労働時間の適正管理について ・例規集の差し替え ・平成27年度安全衛生管理計画
第2回	5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度決算について ・「元気ですたまきまつり」の開催 ・夏季における職員の健康管理について ・労働時間の適正管理について ・各事業所報告・ヒヤリハット 他
第3回	6月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・元気ですたまきまつり報告について ・制服の検討 ・一時金について ・ボランティアルーム等の掃除 ・各事業所報告・ヒヤリハット 他

第4回	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の取り組み（改善）について 職員駐車場（総合検診による）について 各事業所報告・ヒヤリハット 他
第5回	8月6日	<ul style="list-style-type: none"> 事業所改善目標及び実績評価について 職員の健康について 9月給与支払いについて 社協会員増強運動について 「公用使用自家用車届」について 地域福祉事業への参加協力をお願い 各事業所報告・ヒヤリハット 他
第6回	9月10日	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士現場実習生報告 職員研修について 赤い羽根共同募金について 各部署の年間事業、行事について 庶務連絡 各事業所報告・ヒヤリハット 他
第7回	10月8日	<ul style="list-style-type: none"> 定期監査資料の作成 田丸城クリーン作戦 地域福祉座談会について 消せるボールペンの取り扱いについて 個人情報（コピー用紙裏紙）の取り扱いについて 他
第8回	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> 理事会、評議員会の開催について 年末年始休業について 期末勤勉手当の支給について 防災訓練について 市町社会福祉協議会第三者評価事業の受検について 職員駐車場変更のお願いについて 他
第9回	12月10日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度当初予算について 職員人事について 職員辞令交付（定昇） 苦情について 仕事納め式、仕事始め式について 他
第10回	1月12日	<ul style="list-style-type: none"> 給与改定について（手当の見直し） 第14回玉城町社会福祉大会について 第三者評価事業について 下水道工事について 人事について 「元気ですたまきまつり」について マイナンバーの提出について 他
第11回	2月10日	<ul style="list-style-type: none"> 2月15日（月）役員会について 今年度の最終補正予算の提出について 2月支給給与について 締切の書類について 「第14回玉城町社会福祉大会」実施
第12回	3月10日	<ul style="list-style-type: none"> 理事会、評議員会の開催について 「元気ですたまきまつり」について 職員研修について 桜まつりについて 職員退職、採用について あいさつ運動について 職員のモラルについて 制服について 他

(2) 会員制度等の推進

① 社会福祉協議会会員の加入促進及び地域福祉活動費への協力

会員区分	年度		25		26		27	
	人数	会費	会員口数	会費	会員口数	会費	会員口数	会費
個人会員	300	円/口	1,821	546,300	1,942	582,600	1,914	596,780
団体会員	5,000	円/口	69	345,000	70	350,000	61	315,000
賛助会員	10,000	円/口	35	350,000	32	320,000	20	200,000
計			1,925	1,241,300	2,044	1,252,600	1,995	1,111,780

※端数金額が含まれているため口数と金額が相違します。

② 寄附金 (円)

年 度	25	26	27
金 額	1,764,703	2,728,844	1,775,445

※その他、美和ロック(株)労働組合からテント1張

③ チャリティバザーの開催 (町桜まつりチャリティバザー) (円)

年 度	25	26	27
金 額	78,600	55,850	50,805

災害義援金・救援金

① 東日本災害義援金・・・10,000円

② 2016年台湾地震救援金・・・10,000円

上記2つの災害に対して日本赤十字社を通じて義援金・救援金を送りました。

3/31現在 481,642円

(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知

地域福祉の担い手として行政との連携の元、ともに住民にサービスを提供し、さらに行政には出来ない住民等との関わりを補完的に担っています。

また、社協の力が福祉力、地域力となるよう心がけています。

① 『元気ですたまきまつり』の開催

[2-(2)-①]に同じ

日時：6月7日(日) 10:00～14:00

場所：保健福祉会館及びふれあいホール

テーマ：みんなで広がるたまきの和

内容：広く住民の方に福祉の啓発を行う。また、地域活動の交流の場として開催。

② 普及宣伝

・ 広報「たまき社協だより」発行

年4回(5月 8月 11月 2月) 各4,800部 町広報に挟み込み。
8ページの構成で発行しました。

・ ホームページの活用

・ ブログ・フェイスブックの活用

・ 法人設立30周年記念誌発刊(500部)

(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み

住民の方々に効果的・効率的なサービスを提供するため、事業別・業種別の研修をはじめ、全職員対象に実施しました。

職員勉強会3回実施

① 4月17日(44名出席)

テーマ：「社協事業を理解する～日赤募金と共同募金はどう違うのか～」

5月から始まる日赤募金活動にあわせ、共同募金も含めた募金活動の説明

財源とする地域福祉事業について、担当者より説明し、職員の認識を深める。

② 10月13日(火)(45名出席)

テーマ：「救急法」の実践

③ 3月17日(40名出席)

テーマ：「口腔ケアについて」

訪問歯科診療協会から口腔ケアの重要性を学ぶ。

(5) 各種関係機関・団体との連携強化

各関係団体との連携、ネットワーク構築は、地域福祉の推進者として社会福祉法に位置づけられた社協にとって中心的な活動といえます。

なかでも、町から委託される民生委員児童委員活動事業は特に重要なものであり、平成25年12月改選により、民生委員・児童委員33名、主任児童委員2名が地域福祉等の活動に取り組んでいます。

福祉5団体活動は独自の活動においても、町及び教育委員会等と連携の元、積極的に事業に参加、協力、支援を行い、他市町との連携もうまく取れています。

また、県社協と生活困窮者支援体制の連携を図っています。(3-(3)-②)参照

① 民生委員児童委員協議会活動

- ・ 役員会（毎月最終水曜日）

定例会事項検討を中心に、重要事項の事前協議を行う。

	開催日	内 容
第1回	4月22日	事業打ち合わせ
第2回	5月27日	有田地区事例検討
第3回	6月24日	元気ですたまきまつり反省、事例検討
第4回	7月29日	映画「アオギリにたくして」について
第5回	8月26日	役員会の在り方について 意見交換
第6回	9月30日	意見交換
第7回	10月28日	意見交換
第8回	11月25日	意見交換
第9回	12月16日	意見交換
第10回	1月27日	意見交換
第11回	2月24日	平成28年度事業計画（案）について 桜まつりチャリティーバザーについて 意見交換
第12回	3月30日	平成27年度事業報告について 意見交換

- ・ 定例会（毎月第1水曜日）

各委員が交代で事例発表や意見交換を始め、専門部会、地区部会なども行い。情報交換の場となる。

	開催日	内 容
第1回	4月1日	平成26年度事業報告及び決算報告について 平成27年度収支予算（案）について 平成27年度社協会費のお願い
第2回	5月13日	平成26年度心配ごと相談報告について 元気ですたまきまつりについて 楽笑会について
第3回	6月3日	平成26年度活動状況及び活動記録の記入について 元気ですたまきまつりについて 楽笑会について 学校訪問日程
第4回	7月1日	生活困窮者支援制度について 元気ですたまきまつりの報告 楽笑会報告 研修会について
第5回	8月5日	障がい者施設見学 会長研修会報告 楽笑会について 福祉協力員との合同研修について 研修会（意見交換会）について
第6回	9月2日	敬老祝い金の配付について 民生委員法第16条について 赤い羽根街頭募金について

		津市育成地区民児協意見交換会について 楽笑会について 備えトコの配布について
第7回	10月7日	ひとり親家庭等日常生活支援員（生活援助）養成講習について 地域福祉座談会について 「元気ですたまき委員会」の運営状況について 研修会報告 赤い羽根共同募金、街頭募金結果報告 楽笑会について
第8回	11月4日	地域福祉座談会報告
第9回	12月2日	歳末安否確認事業について 南志ブロック主任児童委員研修会報告 楽笑会（外城田）の報告
第10回	1月6日	町長年始あいさつ 玉城町社会福祉大会
第11回	2月3日	災害時避難行動要支援者名簿登録に係る通知について 玉城町社会福祉大会について
第12回	3月2日	平成28年度事業計画（案）について 桜チャリティーバザーについて

- ・毎月、定例会の中で部会ミーティング（高齢者・身障・児童部会）を開催
- ・心配ごと相談 毎月10・20・30日 の相談員として担当
- ・下校時安全パトロール 各学校区ごとに毎月1回以上実施
- ・毎月第3火曜 あいさつ強化デーに取組む
- ・「元気ですたまきまつり」に参加（民生啓発コーナー・流しソーメン 他）
- ・3地区楽笑会に（6/16・5人、6/20・5人、9/29・13人）委員が参加
- ・田丸城クリーン作戦（5月、10月 20名程参加）
- ・街頭募金活動への参加
- ・地域福祉座談会（玉城中学校）に地域住民として参加
- ・玉城町社会福祉大会へ参加

研修 9月2日、福祉協力員合同研修 災害時の高齢者支援 30名出席
9月12日、津市育生地区民児協意見交換会 地域活動について 17名出席
11月30日 ブロック別研修会 31名出席

福祉協力員の連携

福祉協力員は民生委員退任後、本会会長が委嘱し任期は3年。

任期：平成25年12月1日から28年11月30日

委員構成：21名

- ・あいさつ強化デー（第3火曜日：さんかの日）街頭啓発。
- ・社協事業への協力依頼。
元気ですたまきまつりにスタッフとして参加。
楽笑会（下外城田、有田、田丸、外城田校区）
- ・民生児童委員との合同研修
9月2日（水）日赤講習（内容：災害時の高齢者生活支援）
- ・民生児童委員と協力し、地域におけるネットワークづくり及び災害時の安否確認。

② 福祉団体活動

（単位：人、円）

団体名	会員数	主な事業	町補助金
玉城町老人クラブ連合会	1,752	5月 総会及び研修会	1,334,000
		6月 草刈り、ゴミ拾い公共施設奉仕作業 女性部弘樹苑慰問活動 春の研修視察旅行	
		7月 県老人クラブリーダー研修会	
		8月 理事会	
		9月 郡老人クラブカローリング大会	
		10月 町老人クラブ大会・芸能大会	
		12月 草刈り、ゴミ拾い公共施設奉仕作業	

		12月 郡老人グランドゴルフ大会 12月 玉城町保健福祉会館奉仕門松作り 12月 郡老人クラブ芸能大会 2月 日帰り親睦研修旅行 2月 郡老人クラブ役員研修	
玉城町身体障害者福祉会	160	5月 理事会 郡身体障害者福祉会総会 総会 7月 県障がい者ふれあい交流会 理事会 8月 身体・知的障害者相談員等研修会 9月 第1回郡身体障害者福祉会理事会 10月 県身体障害者カローリング教室 10月 第2回郡身体障害者福祉会理事会 10月 郡身体障害者福祉会グランドゴルフ大会 11月 郡身体障害者福祉会ボウリング大会 11月 三重県身体障害者福祉大会 1月 郡身体障害者福祉会カラオケ大会 3月 南勢ブロック活性化事業 3月 第3回郡身体障害者福祉会理事会	300,000
玉城町遺族会	302	5月 総会 6月 玉城町遺族会研修旅行 6月 郡遺族会新世代の会発会式 6月 戦争体験学校講話 (田丸小学校1～3年生158名) 7月 県戦没者追悼式 8月 戦争体験学校講話 (玉城中学校1年生163名) 9月 戦争体験学校講話 (下外城田小学校5・6年生62名) 9月 町戦没者455柱供養(三縁寺) 10月 第87回玉城町戦没者追悼式 10月 県遺族会スポーツ大会 12月 県遺族会遺児研修会 1月 郡遺族会懇親会 3月 県遺族会新世代の会結成式	428,000
玉城町母子寡婦福祉会	35	4月 理事会 総会 5月 城跡クリーン作戦(花いっぱい運動) 喫茶白ゆりの花の管理打ち合わせ 6月 元気ですたまきまつり 度会郡母子寡婦福祉大会 7月 日帰り研修(志摩市) 県指導者研修 鳥羽市 11～12日 10月 町民体育祭バザー出店 10月 郡母子寡婦福祉会役員会 11月 県母子寡婦福祉会県大会 12月 花餅作り 1月 郡母子寡婦福祉会役員会 2月 郡母子寡婦福祉会交流事業(いちご狩り) ※10・11月ひとり親家庭生活支援員養成講習 ※毎月、福祉会館の草取り奉仕作業を実施	147,000

玉城町手をつなぐ親の会	20	4月 桜まつりバザー 5月 総会・学習会 城跡クリーン作戦（花いっぱい運動） 11月 秋季交流会（五桂池） 3月 親の会交流会（二見シーパラダイス） ※定例会（勉強会）を隔月にて開催	40,000
合計			2,249,000

③ 町や事業所間の連携

- ・ 地元障害者就労施設の販路拡大に協力
- ・ 防災意識の向上・醸成にボランティアが連携協力
- ・ 生活困窮者支援体制強化のため、町及び県社会福祉協議会と連携協力
- ・ 学校、各種団体等からの研修派遣要請に協力

2. 地域福祉事業の推進

(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）

人と人とのつながりに基づく地域生活に着目し、すべての地域住民一人ひとりの自立した生活が可能となるよう、個別の援助とそれに連動した地域の福祉活動に対する支援を積極的に行う事業です。

① サロン事業の支援と推進

地域の方々がボランティアスタッフになり、閉じこもりになりがちな高齢者の気軽な集いの場を設置。地域の支え合いにより介護予防や災害時などの支援にもつながる事業といえます。また、子育て中の家庭への支援も推進しています。

○ いきいきサロン栄町（毎月第4水曜日：栄町公民館）（H17.2開始）（単位：人）

年度	25	26	27
平均人数	32	32	32

○ サロン玉城苑（毎月第3木曜日：玉城苑集会所）（H17.11開始、H23.1休止、H24.1再

年度	25	26	27
平均人数	14	16	15

○ ふれあいサロン（毎月第3水曜日：大手クラブ）（H18.2開始）

年度	25	26	27
平均人数	27	29	29

○ お楽しみ会（毎月第4月曜日：保健福祉会館）（H19.6開始）

年度	25	26	27
平均人数	6	6	6

○ 万年青の会（毎週月曜日：下田辺公民館）（H21.2開始） 中国健康体操

年度	25	26	27
平均人数	9	10	11

○ 勝田町いきいきサロン（毎月第2水曜日：勝田町公民館）（H21.9開始）

年度	25	26	27
平均人数	18	20	23

○ おふろサロン（毎週月・水・金曜日開催）

参加料：1回150円、回数券（8枚綴）1000円（H22.4開始）

年度	25	26	27
登録人数	14	15	10
平均利用人数	3	3	2

② ほのぼの便（安否確認）

ボランティア（ゆずりは会）により毎月絵手紙を作成。民生児童委員と連携し毎月独居高齢者へ配達し、安否見守り活動に効果を上げています。

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	129	134	147

③ 歳末援護事業（まごころ弁当）

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ、12月30日に民生委員のご協力のもと「まごころ弁当」配布により安否確認を実施しています。

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	144	147	154

④ ホットサークル

介護者支援事業として介護者のリフレッシュの場を提供

(単位：人)

年度	25	26	27
開催回数	4	3	4
平均参加人数	12	10	8

⑤ ぴんの会

独居高齢者支援事業として地域包括支援センターと協働。平成23年2月設置。会食を中心に高齢者同士の集いとして自立を目指しています。

(単位：人)

年度	25	26	27
開催回数	12	12	12
平均参加人数	29	29	39

⑥ 給食サービス

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ毎月第1・3日曜日に昼食を届けています。ボランティア虹の会がふれあい型の活動として運営。事業費は共同募金が原資により無料提供。平成24年度から利用料（1回200円）を徴収、これを地域福祉費に充当している。希望者は平均24名/月

年度	25	26	27
回数	19	19	19
平均配達人数	22	23	24
延べ人数（配食数）	425	443	456

⑦ 楽笑会（らくしょうかい）

平成24年度から地域型のおたのしみ会として、閉じこもりがちな高齢者の地域参加の場を学校区単位で行い、地域の世代を超えた交流によってコミュニケーションを図っています。今年度は、全校区においての開催を予定し、有田地区・下外城田地区・田丸地区を終了、11月に外城田地区で行います。24年度から年度毎に1校区ずつ開催場所を増やしており、田丸地区においては、初めての実施となりました。また、各学校の授業内で開催しております。

(単位：人)

年度	25	26	27
下外城田参加人数	53 (3)	52 (5)	44 (5)
有田参加人数	40 (6)	49 (8)	53 (9)
外城田		77 (14)	70 (11)
田丸			81 (17)

※（ ）内は、対象高齢者人数

⑧ 備えトコ

平成25年度からの引き続きの事業で、災害予防対策として災害弱者である75歳以上のお一人暮らしの方を対象に防災啓発グッズを配布し、災害に対する自助的意識の向上を図ることを目的に行います。

※3年に一度見直し予定。年度ごとに新規の方のみ配布。

年度	25	26	27
配布人数	178	32	30

(2) 積極的に社会参加できる環境づくり (福祉育成・援助活動事業)

地域のすべての住民を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加、社会連帯の精神を養うとともに、地域内における福祉教育の実践及び学習を通じ、地域の福祉力向上を目指す事業です。

① 元気ですたまき事業

・委員会の運営

平成27年度4期目スタート。任期5年。現在委員12人。アドバイザーにユマニテック医療福祉大学 会長補佐・教員 田村禎章氏を置いています。第2期地域ふくし力向上計画を中心に、住民課題を住民目線で共に考え解決に導いています。

1期目の計画の基本目標を引き継ぎ、2期目では玉城町に関わる様々な人を「たまき人」と位置付け、福祉共育推進に努めました。

(単位：人)

開催日	内 容	参加人数
H27. 4. 22	第1回元気ですたまき委員会	11
H27. 5. 27	第2回元気ですたまき委員会	12
H27. 6. 7	元気ですたまきまつり (たまき人パネル作成：エコアート)	9
H27. 6. 24	第3回元気ですたまき委員会	10
H27. 7. 29	第4回元気ですたまき委員会	10
H27. 8. 26	第5回元気ですたまき委員会	12
H27. 9. 30	第6回元気ですたまき委員会	9
H27. 10. 11	町民体育祭 (フォークダンス) 参加：60人	5
H27. 10. 17	地域福祉座談会 参加：234人	6
H27. 10. 28	第7回元気ですたまき委員会	11
H27. 11. 7	ふれあいウォーキング 参加：	4
H27. 11. 25	第8回元気ですたまき委員会	7
H27. 12. 16	第9回元気ですたまき委員会	12
H28. 1. 27	第10回元気ですたまき委員会	12
H28. 2. 24	第11回元気ですたまき委員会	7
H28. 3. 30	第12回元気ですたまき委員会	11

・あいさつ強化運動

平成22年1月から毎月第3火曜日の早朝、田丸駅、小中学校、保育所であいさつ運動を展開し住民同士の絆づくりの一助となっています。

活動は、委員はじめ福祉協力員、民生児童委員、社協職員など。各活動箇所で開催しているほか、玉城中学校では生徒会活動、有田小学校でも児童会活動として参加してくれました。昨年「身障者就労支援センター上々」の利用者・職員もあいさつ強化デーに加わっています。一般の方も場所によっては、参加されている箇所もあります。田丸駅では、青少年を育てる会の啓発活動も日にちを合わせ7月ごろから毎月一緒に行いました。

(単位：人)

年度	25	26	27
参加人数	353	390	605

※H27から中学生、青少年を育てる会参加者を含む

・元気ですたまきまつりの開催

日時：6月7日(日) 10:00～14:00

場所：保健福祉会館及びふれあいホール

テーマ：みんなで広がるたまきの和

内容：広く住民の方に福祉の啓発を行う。また、地域活動の交流の場として開催。実行委員会を中心に内容を検討、実施しました。昨年度に引き続き、オープニングに多くの参加をいただくため、体操に参加された方に喫茶白ゆりドリンクなどと交換できるチケットを配布しました。また、流しそうめんも企画し、民生委員のコーナーで実施いただきました。昨年度より来場者も増え1000人の来場者に地域

力、福祉力をPRできたと考えています。

引き続き、来場者や出店者等からのアンケートや意見をもとに、住民の方が参加しやすく、よりよい福祉のイベントになるよう努めます。

・元気ですたまき推進事業（オリジナル体操）

元気ですたまきのオリジナル体操は、町のイメージソングと共に平成18年度に誕生。体操として、保育所、学校で活用されるようになっており、一般には桜まつり、アスピア玉城まつり、町民体育祭、民生委員活動など幅広く使われています。さらに、サロン活動や健康しあわせ委員の活動において健康づくりとして、地域の活動に取り入れられ、定着しています。

(単位：人)

開催日	会場	啓発内容	職員参加人数
H27. 4. 5	玉城中学校	玉城町桜まつり	6
H27. 5. 15	田丸小学校	運動会練習	2
H27. 6. 14	中央公民館体育館	町PTAソフトバレーボール大会	2
H27. 7. 19	アスピア玉城	アスピア玉城夏まつり	18
H27. 10. 24	アスピア玉城	アスピア玉城秋まつり	9

・あいさつウォーキングの活動展開

しあわせ委員会と協働で平成27年11月7日（土）に「ふれあいウォーキング」を開催しました。コースは、保健福祉会館から広泰寺までの往復（5km）、広泰寺から保

・「しあわせの一行詩」募集

社会福祉大会に合わせてしあわせ委員会と協働で募集を行いました。テーマは、「しあわせを感じた時」。住民からしあわせを感じる瞬間を寄せてもらい、身近なしあわせの気づきと共有を図るものです。

優秀作品は、社会福祉大会で表彰致しました。

応募：小学生（4-6年生）255作品、一般（中学生以上）20作品

② 地域福祉活動計画の策定

地域福祉計画の活動計画の一部に位置付けた「地域ふくし力向上計画」も、昨年度末に元気ですたまき委員会において見直し、新たに策定を行い、今年度より5か年計画として2期目に入りました。基本目標を引き続き「地域のコミュニケーションアップ」「福祉共育のできるまち」として、始動しました。

小中学校との取り組みは、学校の協力を得て、実行することが出来ました。今年度の評価も行い、次年度に向け推進項目の優先順位も考えながら、進めていきます。

③ 福祉用具等貸出事業

車いす等福祉用具に関わる貸出事業を行っている。

対象（社協会員になっている人、団体）

車いす貸出状況

(単位：件)

年度	25	26	27
件数	44	61	41

④ 集いの場創生事業

「地域ふくし力向上計画」2期目に掲載。

- ・引きこもりがちな住民への支援を中心に位置付けています。
- ・元気ですたまき委員などが中心となった「おせつkaiたまき」の活動を若者支援として位置付けました。

今年度は行政が行う活動（11/14開催）に協力する形をとりました。

おせつkaiのメンバーは、冒頭の自己紹介をインタビュー形式で行い、また、要所要所において、参加者の方々への声掛けや促しを行っていただいております。

参加人数：61名（男性34名、女性27名）カップリング成立：8組

⑤ 福祉共育事業

・たまリンピック2015

誰もが安心して暮らせる地域づくりの一環として、玉城町で暮らす・働く障がい者が一堂に会し、レクリエーションを通して交流を深めています。

(単位：人)

年度	25	26	27
参加人数		76	61

・手話っちカフェ

手話に関心のある方、障がいのある方、気軽に集って、手話に触れることで、障がいについての理解を深めています。

(単位：人)

年度	25	26	27
参加人数			20

(3) ボランティア活動及び福祉教育の推進 (ボランティア活動育成事業)

ボランティアに関する相談・斡旋、ボランティア養成・交流講座を実施し、ボランティアの育成や団体及び個人の自主的活動を支援します。

イ) ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

① ボランティアセンター活動の充実

・ボランティアセンター会議の開催

開催日	内容	参加団体数
H29. 5. 11	第1回 ①「元気ですたまきまつり」について ②今年度センター事業について ③助成金の交付について ほか	11
H28. 2. 29	第2回 ①平成27年度ボランティアセンター事業報告について ②平成28年度ボランティア団体活動支援事業について ③平成28年度ボランティア活動保険について ほか	12

・ボランティア団体への支援 (21団体)

(単位：人・円)

団体名	会員数	主な事業	助成金
ボランティア玉城	14	町内施設行事などへの参加、町内美化活動の推進	5,600
玉城町虹の会	61	一人暮らし高齢者への給食サービスや「夢工房」でのお手伝い。町内施設、イベント時の支援や町内美化運動など	50,000
おもちゃ病院	10	おもちゃの修理を行う。 毎月第2土曜日開院。	32,000
はなはなおはなし会	11	町保健福祉会館、町内保育所、田丸小学校での定期的な絵本・紙芝居の読み語りほか。	6,000
車椅子社交ダンス普及会玉城支部	7	車椅子とその利用者への理解やダンスを通じてリハビリを目的とし、町内の施設を訪問。	0

マジックふらわぁ	4	各行事へ参加してのマジックの展示 保育所や福祉施設への訪問 ほか	5,000
カラフルらいおん	12	本や紙芝居の読み聞かせ等のイベントを通して子どもや子育て中の保護者同士の交流の場の提供。	12,000
さくら小町	6	町内福祉施設を中心に訪問し、ダンスを通じて心身のリハビリテーションの実施。入居者との親睦と交流を図る。	0
お楽しみ会	7	月1回。高齢者の集い（サロン）。 手芸、料理、体操を中心に活動	0
絵手紙サークル ゆずりは会	9	月2回定期開催（勉強会・絵手紙作成） 民生委員が安否確認時にお持ちする絵手紙を作成 町内イベントへの参加 ほか	10,000
悠ゆう塾サポーター	3	”悠ゆう塾”（行政事業）のサポーター活動	0
玉城語り部会	17	・町内観光のボランティアガイド ・歴史的文化財の探索調査 など	0
サポーター「さくら」	133	・認知症サポーターの育成 ・介護施設行事への参加 など	0
青色回転灯パト ロールボランティア	16	住民の方の安全安心をより確かなものとするため 町内をパトロール（教育委員会事業）	0
玉城町食生活改善 推進協議会	81	栄養、健康づくり講習会・保健事業への協力・栄養改善大会への参加・健康体操	0
玉城町商工会女性部	13	イベントへの参加（体操など）	0
健康しあわせ委員会	46	健康づくり普及啓発	0
玉城町民生委員 協議会	35	民生委員活動	0
玉城町防災・災害 ボランティア	22	防災の啓発 災害支援活動	0
バルーンボラ	8	町内イベントなどへの参加を行い、バルーンを通じて、心の元気につなげる。	8,000
玉城ミュージック モンスターフェス ティバル実行委員	38	イベントの企画・運営	0
玉城おはなしキャラバン		今年度より、活動停止。 代表者、体調不良並びに活動者の確保難しい。	
玉城たんぽぽ		活動者の確保が難しく、休止となる。	
和敬会		活動者の確保が難しく、活動停止となる。 さくら児童館での茶道教室は継続する。	

玉城手話愛好会		毎週の勉強会は休止。 依頼があれば、活動として参加する（福祉体験教室）	
花いっぱい運動		活動停止。 但し、状況により活動いただくこともある（9人）	
延べ	553	実人数 434人（内個人14人、災害18人）	合計 128,600

② ふれあい福祉サービス（ちょっと有償ボランティア）

日常のちょっとした困りごとに登録ボランティアが支援を行っています。利用料はチケットにより清算。買い物やごみ出しなどのニーズが中心となります。

（単位：件数）

年度	25	26	27
利用者実人数	15 (ICT 8)	12	9
利用回数	249 (ICT 9)	269	242

※ 買い物113件、ゴミ出し94件、歩行訓練手伝い13件、買い物付き添い14件、見守り8件

③ ボランティア交流事業

期日	内 容	参加団体（人数）
H27. 7. 2 H27. 9. 17	「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ作戦」賛同 外城田川沿いゴミ拾い	雨天のため中止といたしました。 （一度延期いたしました）
H27. 7. 16	田丸城址 紫陽花の剪定	12人 花いっぱい運動（7人）、南勢就労（5人）
H27. 7. 19	ボランティア講習会 「笑いヨガ体験」	45人

④ ボランティア養成講座

期日	内 容	参加人数
第1回 H27. 9. 20 第2回 10. 4 (全2回)	「笑いヨガ」リーダー養成講座開催	5人
①H28. 3. 12	はじめましてボラ体験講座開催 ①おもちゃ病院	①1人
②H28. 3. 20	②虹の会（給食サービス）	②2人

ロ) 児童生徒の福祉意識の高揚

① 福祉体験教室の開催

子どもたちの福祉に対する基本知識の習得と、体験や地域住民との交流を通して考える機会をもち、あわせて思いやりの気持ちを深める。

(単位：人)

開催日	内 容	参加人数
H27. 7. 30	町内の福祉の様子や施設の説明 認知症キッズサポーター養成講座（講師：サポーターさくら）高齢者デイサービス交流（玉城町社協）	16
H27. 8. 6	町内障がい者福祉施設（宮の里）で利用者と交流・車いす体験 手話体験・聴覚障がい者の生活を知ろう （講師：手話おしゃべり会（ボランティア））	17
H28. 3. 20 ～H28. 4. 6	春休みボランティア体験 社協デイサービスにおいて、半日もしくは1日の体験を行う（内容：利用者への配膳やルーム内でのお話ほか）	5 (延10)

② 福祉協力校の育成及び活動への助成

児童・生徒の社会福祉への理解を深め、地域とのつながりや社会参加の精神を養うとともに、児童・生徒の活動を通して家庭及び地域社会の啓発を図ります。また、協力校（全校）の教員との連絡会を開き、本事業についての説明（社協会費の充当など）、意見交換を行い、助成金の交付を行いました。

福祉協力校連絡会開催日：平成27年6月22日（月）

(単位：人・円)

学校/児童生徒数	金額	(報告) 主なもの
玉城中学校 518	100,000	認知症キッズサポーター養成講座を開催する。 生徒会主催の玉城中ボランティア活動として、環境美化運動などに取り組む。
外城田小学校 258	70,000	園芸委員化で育てた花の苗を高齢者施設にプレゼントし、交流する。また、外城田保育所や梅ヶ丘児童館などにも花のプランターをプレゼントする。
田丸小学校 334	83,000	学校に関わるボランティアの方々を学校に招待し、ありがとう集会を行う。 児童会を中心にお堀の浄化活動に取り組む。 1、2年生を対象に盲導犬の講演を行った。
有田小学校 183	70,000	通学団で校区内のごみ拾いを行った。 年間を通して、「あいさつをしっかりとしよう」を目標に、あいさつ運動を行った。
下外城田小学校 177	70,000	玉城わかば学園との交流 人権講演会（ハーモニカミニコンサート）を開催する。
合計	393,000	

③ 児童生徒の福祉参画促進

児童・生徒が地域福祉活動へ参画するためのきっかけづくりを支援しています。夏休みを利用して、福祉体験教室の開催、福祉の作文の募集を行い、2学期には「しあわせの一行詩」も募集いたしました。

また、「楽笑会」や「地域福祉座談会」を学校の授業内で開催することを定着させ、「楽笑会」においては、全ての学校区で開催出来ました。地域の方々と接点を

持った活動の展開、またそこからの住民意識や地域愛の向上を図り、「ふくしの心」の育みに努めました。

- ・「楽笑会」 2. 地域福祉事業の推進
(2-(1)-⑦)に同じ

- ・福祉のお仕事セミナー（県社協 福祉・介護の魅力発信事業）
県社協より依頼があり講師として、参加しました。
この事業は、福祉のしごとへの理解や関心を深めるため、従事する者から直接生徒などに仕事の必要性や職種、やりがいについて実体験も含めて具体的に伝えるものです。
期 日：平成27年6月20日（土）
対 象：玉城中学校2年生（178名）

- ・福祉の勉強会
下外城田小学校で開催の障害への理解を深める勉強会へ参加。福祉についての講話と車いすなど使った実地体験を実施。
期 日：平成27年6月9日（火）
場 所：下外城田小学校 体育館及び校舎
対 象：4年生（26名）
また、9月7日（月）には、ボランティア3人より手話を学びました。

- ・「地域福祉座談会」
今年度は、玉城中学校3年生の授業内で「地域ふくし力」をテーマに、開催いたしました。他の参加者としては、民生委員・ボランティアや青少年を育てる会の協助員など多くの地域住民の方に参加いただきました。
講演によって知り、また自分たちの問題として考えるグループワークも行いました。
3年生では、2学期後半に「社会福祉」について学ぶこともあり、事前の学びの場にもなりました。
期 日：平成27年10月17日（土）
テーマ「地域ふくし力」
玉城町の地域ふくし力の推進へ向けて～住みよい暮らしづくりを目指して～
講 師：ユマニテク医療福祉大学校 会長補佐 田村禎章氏
皇學館大学教育開発センター 助教 池山敦氏
参加者：234人

- ・福祉の勉強会
外城田小学校で、できること、してはいけないことを踏まえ、思いやりのこころを育みました。
期 日：平成28年2月29日（月）
場 所：外城田小学校 多目的室
対 象：4年生（40人）

- ④ 子育てサロン
ボランティア（カラフルらいおん）が未就園児の親子に対する子育て支援の場の提供を行っています。毎月第2水曜日開催。

(単位：人)

年度	25	26	27
平均参加人数	34	41	30

ハ) ふくし共育活動への参画

- ①地域福祉座談会
(2-(3)-(ロ)-③)に同じ

- ②ふくしを支える勉強会
今年度は、地域福祉座談会に含めました。

③防災・災害ボランティア

住民の災害に対する意識啓発を図ります。

- ・定例会の開催 11回
- ・そのほかの活動

日にち	内 容	参加者
6月7日	元気ですたまきまつり 耐震ルーム展示ほか	ボラ9人
7月26日	田丸小学校分団親子行事 ツナ缶ランプ・防災クイズほか	58人 (うちボラ12人)
10月17日	下外城田小学校4年生親子行事 ビニール袋での炊飯試食体験・ 新聞紙でのスリッパ体験ほか	59人 (うちボラ6人)
10月17日	外国人のための避難所訓練in玉 城町 「身近なものを使った応急処 置・毛布を使った担架づくり」 を講師役として参加。	56人 (うちボラ8人)
12月5日	外国人被災者のためのサポー ター研修in玉城町 避難所における外国人被災者 に対する支援について講義と実践 を体験	43人 (うちボラ9人)

(4) 障がい者の自立と社会参加の促進 (障がい児・者福祉活動事業)

障がい者の生活を豊かにするため、障がいのある人もない人も対等な立場で様々な分野の社会活動に参加できるよう、環境づくりに努めています。

- ・はっぴいサークル

町内に住む特別支援学級または特別支援学校在籍の小・中・高校生を対象に長期休暇の過ごし方を地域の人と共に考え、共に過ごす機会と場の提供を行います。

(単位：人)

開催日	内 容	参加人数	
H27.7.24	ダンス、運動遊び(ブレスと合同)、アイスクリーム作り	41	(15)
H27.8.1	伊勢市横輪町 川遊び	21	(6)
H27.8.7	カレー作り、キーホルダー作り	37	(14)
H27.8.21	ピザ作り、絵日記作成	35	(12)
H27.12.23	クリスマス会	41	(10)
H28.3.26	パン作りとみんなで遊ぼう	31	(8)

()は対象児童数

3. 相談・援助事業

(1) 福祉相談機能の充実強化

民生委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談窓口を「心配ごと相談」として毎月10日・20日・30日実施。

(単位：件)

年度	25	26	27
相談件数	20	12	12

(内訳：住宅1、人権・法律4、障がい者福祉2、財産5)

- ・窓口総合相談 (ボランティア含む)

(単位：件)

年度	25	26	27
相談件数	29	32	22

相談内容はボランティアに関する相談が多くありました。
(内訳：ボランティア関係17、高齢者関係3、その他2)

(2) 低所得者世帯の生活安定事業

生活福祉資金及び町世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めています。

本会は、町単独事業として独自の更生資金の貸し付けを行っていますが、県社協において平成21年10月、厳しい経済危機のもとで失業等による生活困窮が広がっている状況等を踏まえ、低所得者や失業者等の生活再建に向けた新たなセーフティネットの強化策が、継続的な相談支援とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金の創設等、制度の改正が行われたことをうけ、こちらを優先して支援相談に応じています。

・貸付相談数 (単位：件)

年度	25	26	27
件数	29	22	15

・平成27年度 貸付状況

①生活福祉資金 (単位：件)

更生資金	総合支援資金	福祉資金	住宅資金	教育支援資金	緊急小口	計
2	3	5	1	5	8	24

②町世帯更生資金

更生資金	生活資金	住宅資金	就学資金	災害援助資金	療養資金	計
0	14	0	0	0	0	14

※年度内実績

(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業

日常生活を営むうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や手続き・支払い等の援助を行っています。

①日常生活自立支援事業

県社協が事業主体となり平成23年度からは県内のすべての市社協が基幹的社協として専門員を、町社協には推進員、支援員を配置し支援しています。平成27年4月より事業の名称が「日常生活自立支援事業」に変更。

(単位：件・回・人)

年度	25	26	27
利用人数	6	10	10
延べ支援回数	211	247	163
支援員数	3	4	6

②生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前の段階の自立支援対策強化を図るため、福祉事務所設置自治体は生活困窮者の相談に応じ、個々人の状態にあった必要な支援を講じる「自立相談支援事業」が平成27年4月から必須となり、このため三重県は多気町を除く各町に対しても県社会福祉協議会に委託し自立相談支援センターの設置と各町社会福祉協議会との連携により支援体制をスタートさせました。

このほか、同センターは任意事業でもある「家計相談支援事業」（家計に関する個別のプラン作成、助言）の支援も始めました。

また、本会は「就労準備支援事業」（一般就労へのつなぎ訓練：任意事業）の登録事業所として、多気・度会福祉事務所に登録をしています。

(単位：人・世帯)

年度	25	26	27
自立相談支援事業	—	—	12
家計相談支援事業	—	—	1
就労支援事業	—	—	5

4. 受託事業の運営

(1) バス事業

① 研修バス

町のバスを使用して町事業はじめ、児童福祉、高齢者福祉、教育委員会の社会教育事業活動に研修バスとして委託運行しています。町内無料。町外30円/kmを利用者負担。

・ 依頼者別状況

依頼者	総務	税務	生福	上下水	産業	建設	議会	教育
依頼件数	3	0	46	0	7	0	1	161

病院	社協	各種団体					合計
0	15	17					250

※各種団体：社協所管5福祉団体及び民生児童委員協議会

・ 年度別依頼状況

(単位：件)

年度	25	26	27
件数	265	277	250

② 福祉バス

高齢者、身体障害者等交通弱者の移動手段の確保と生活支援を目的とする委託運行バスです。

【福祉バス】

平成23年1月からは小俣図書館との1日2便の運行。

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	23	24	25	26	27
利用人数	3,120	2,503	3,133	2,291	2,876

内訳 町内 774人
町外 1,602人

【元気バス】

高齢者を中心とする交通弱者の町内移動手段

平成27年度の状況：

登録者数：1,431人

登録者性別

男性：421人 29.4%

女性：1,010人 70.6%

登録者年代別

65歳未満 25.9%

65～69歳 7.0%

70～74歳 8.9%

75～79歳 15.6%

80～84歳 19.7%

85歳以上 22.9%

利用者数：延べ 25,677人

1日平均実利用者数：71人

・ 運行概要

デマンド方式、運賃無料。

10人乗りワゴン車 平日3台(水のみ2台)。土日祝日は1台体制。

8時50分から17時15分運行、年末年始のみ運休

・ 平成27年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	上半期計	
人数	2,177	2,139	2,306	2,276	2,060	1,890	12,848	
月	10	11	12	1	2	3	下半期計	年度計
人数	2,261	2,076	2,060	1,934	2,229	2,269	12,829	25,677

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	23	24	25	26	27
利用人数	27,236	26,291	26,296	26,487	25,677

【すまいるバス】

機能回復事業に係る移動支援バス。

・平成27年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	上半期計	
人数	145	172	189	145	92	136	879	
月	10	11	12	1	2	3	下半期計	年度計
人数	159	131	138	125	170	179	902	1,781

・年度別利用状況 (単位：人)

年度	24	25	26	27
利用人数	1,542	1,619	1,544	1,781

火曜日(9月から一部水曜日)・金曜日に利用の多い介護予防事業への参加者をすまいるバスに一部移行し、元気バスの利用枠を拡大しています。

(2) 各種福祉団体事業の運営

民生委員児童委員協議会をはじめ、福祉5団体(老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、遺族会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ親の会)を運営しています。

内容 [(1-(5))]参照

(3) ICTふるさと元気事業の運営

総務省の「ふるさとICT元気事業」の採択を受けて以降、元気バスの予約をスマートフォンや町内31カ所に設置したタッチパネルパソコンを通じて予約できたり、緊急事態が起こった場合に通報ができたりする仕組みとして、一定の成果をあげてきました。

今年度は、運行管理システムの全面的な改修に合わせ、スマートフォン、タッチパネルからの予約システムの改修と同時に実績精査を行いました。

スマートフォンは貸与品によらずとも汎用性のもので稼働できるようにし、タッチパネルは主要箇所5箇所設置にとどめました。

・取材視察者への対応など

直接社協にかかわる団体などからの依頼は対応しています。

最近の傾向として、既導入の団体(市町)、民生委員協議会など市民団体から見守りを兼ねたシステムへの見聞視察や、大学などの研究者の視察も引き続きあります。なかでも、最近の傾向では地域包括ケアシステム等の一端としての効果実績として問い合わせもあります。

視察者：鈴鹿市コミバスを考える会(31名)

名古屋工業大学・タウンEV(株)2回

福島県猪苗代町議(5名)

鳥取県八頭町議(9名)

朝日新聞出版「週刊朝日」編集部 記者 村田くみ

京都府宇治田原町議会(7名)、

南アルプス市楡形地区自治会連合会(22名)

立命館大学修士(野村1名)

朝日新聞社記者 中村真里

大阪府太子町町議2名ほか(6名)

皇學館大学学生(1名)

法政大学大学院政策創造研究科 小峰教授ほか(3名)

5. 募金活動の推進

(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動

日本赤十字社の活動は、地震や台風などの自然災害等が発生した際に、救護班を現地に派遣する「災害救護活動」、血液製剤の安定供給・国内自給の確保を目的とした「血液事業」など、多岐にわたっています。

当町においても、町内住宅火災時等に災害救援物資の配布、災害死亡弔慰金の支給を行っています。また、毎年5月は、全国いっせいに赤十字社員増強運動が実施され、運動期間中は、赤十字思想の普及、赤十字社員組織の拡充と社資(寄付金)

協力への呼びかけを行っています。（当町は、寄付金協力をお願いしています）

・ 年度別寄付金額 (単位：円)

年度	24	26	27
金額	1,803,300	1,775,600	1,707,300

(2) 共同募金と歳末助け合い活動

社会福祉法で位置付けられた「共同募金」は、きめ細かく創意に満ちた福祉活動を行う民間社会福祉事業の財政的支援として大きな期待が寄せられており、広くご協力と呼びかけ、毎年10月赤い羽根の募金としてなじみ深いものです。寄せられた募金は、地域のさまざまな福祉活動や福祉施設の充実、ボランティア活動を支えるためなどに役立てています。

昨年度、玉城町支会から玉城町募金委員会へ移行しました。

・ 年度別寄付金額（共同募金） (単位：円)

年度	25	26	27
金額	1,819,580	1,758,885	1,681,630

・ 年度別寄付金額（歳末助け合い） (単位：円)

年度	25	26	27
金額	144,000	158,760	166,320

(3) 災害義援への協力及び活動

国内・国外で起きた自然災害に対し、災害義援金の募集・受付を行っています。

・ 災害義援金

①ネパール支援義援金

37,673円

うち、元気ですたまきまつり（ビンゴ）

27,800円

元気ですたまきまつり（募金箱）

9,873円

・ 桜まつりチャリティーバザー実行委員会

[(1-(2)-①)]に同じ

6. 在宅福祉事業の運営

(1) 介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

・ 平成27年度利用状況(予防を含む)

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	156	152	148	156	159	170	170	167	171	166	174	174	1,963

・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	1,663	1,872	1,963

② 通所介護支援事業

・ 平成27年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	665	671	661	679	713	804	862	854	870	801	833	907	9,320

・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	9,714	9,046	9,320

③ 訪問介護支援事業

・平成27年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	703	638	649	663	595	587	610	596	639	645	662	722	7,709

・年度別利用状況

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	9,269	8,284	7,709

(2) 障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業 夢工房たまき

・平成27年度通所状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	283	261	259	252	219	209	203	193	199	188	189	216	2,671

・年度別利用状況

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	2,949	2,985	2,671

・生活支援

排泄、食事、入浴、送迎等の支援

・生活訓練及び創作活動

作業

さをり織り・木工・牛乳パックの椅子・編み物等

生活実習

買い物・外食・観賞

地域交流

利用者による、自主製品の販売

ボランティアの受け入れ

② 相談支援事業 みらい (平成27年2月事業所開所)

・平成27年度相談(一般・障がい児)支援件数状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	7	2	3	5	7	8	8	8	4	6	13	17	88

・平成27年度モニタリング(一般・障がい児)件数状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	10	11	13	9	12	20	10	14	22	15	16	7	159

・年度別支援

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	—	21	247

③ ホームヘルプサービス

・平成27年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	92	86	92	105	96	93	97	104	110	114	119	123	1,231

・年度別利用状況

(単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	1,440	930	1,231

(3) 移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

・平成27年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	234	155	195	218	150	153	164	180	168	167	158	171	2,113

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	25	26	27
利用人数	2,205	1,986	2,113

7. 地域住民からのニーズ事業の実施

(1) シルバー人材センター事業

- ・ 会員数の状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男子	118	121	121	121	123	123	124	125	125	125	125	125
女子	75	75	75	76	76	76	78	80	80	81	81	81
人数	193	196	196	197	199	199	202	205	205	206	206	206

- ・ 契約金額 (単位：円)

年度	25	26	27
金額	60,418,893	63,425,305	62,430,395

- ・ 講習会

平成27年8月31日(月)玉城町保健福祉会館において、講師に伊勢市シルバー人材センターの西野 賢氏招いて、会員6名に対し就業における安全・適正就業について講習を行って頂きました。

- ・ 奉仕活動

平成27年12月16日(水)町内の公共施設4か所(アスピア玉城・村山龍平記念館・中央公民館・保健福祉会館)において、会員25名によって奉仕活動(草取り・ゴミ拾い等)を行いました。